

佐賀県の 地域づくりと道づくり

佐賀国道事務所長 小串 俊幸



新年明けましておめでとうございます。平素より国土交通行政並びに佐賀国道事務所へのご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は県内では8月の大雨、全国的には10月には大型の台風

19号などが甚大な被害をもたらしました。毎年のように発生する大規模災害に耐える「災害に強い道路づくり」の必要性を改めて痛感したところです。

当事務所の改築事業のひとつである西九州自動車道については、「伊万里道路」及び「伊万里松浦道路」の佐賀県区間を1

日も早い開通に向け、昨年に続き全力で取り組んで参ります。鳥栖拡幅などその他改築事業についても、早期整備を期待されている皆様の声にお応えできる

よう事業を推進して参ります。

交通安全対策事業については、県内各所で事業を推進して

おり、「国道34号三養基高校入口交差点改良事業」と「国道202号蔵宿歩道整備事業」につ

いては、今年事業完了を目指しています。

また、平成28年に九州で初めて着手した修繕代行事業として行っておりました唐津市呼子大

橋の修繕事業は今年事業完了を目指し、鋭意進めて参ります。道路を造ることによって、救

急医療活動の支援、物流の効率

化、観光地をめぐるアクセス性

の向上など、様々な効果が生まれ、地域の活性化へ繋がっていくと考えます。また、地域に根

ざした安全・安心な道づくりに向けて、職員一丸となり一層ま

い進んで参りますので、引き続きご支援、ご協力の程よろしくお願ひ致します。

皆さまにとりまして実り多い年となることを祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。

九州地方の安全・安心確保に関する取組について

九州技術事務所長 坂元 浩二



新年明けましておめでとうございます。

平素より、国土交通行政の推進にご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、6月の梅雨前線豪雨にはじまり、8月末から10月にかけての秋雨前線や台風による豪雨災害など、全国的に大災害

が多く発生しました。特に、台風19・21号における豪雨災害では、多くの河川が氾濫するなど

し尊い命が失われました。九州においても、8月末日からの秋雨前線豪雨による災害により、

佐賀県大町町では低地での浸水被害に加え工場からの油流失も

発生し、家屋や田畑に甚大な影響を与える災害が発生しており

ます。被災された方には心からお見舞い申し上げます。

当事務所では、これらの災害にポンプ車・照明車や無人化施工機械の災害対策用機械および職員を派遣して、災害復旧支援及び自治体支援を行いました。

さて、当事務所は、九州の建設分野の生産性向上を目指し、「防災技術力の充実強化」「建設技術の生産性向上」「人材育成の推進」を3つの柱として業務を推進しております。

「防災技術力の充実強化」においては、市販の重機を遠隔操作できる装置（通称ロボQS）の高度化として、バケット以外のアタッチメントへの拡充検討・検証を行うと共に、新たにポンプ車や照明車の改良にも取り組みました。また、過年度に取り組んだ360度カメラによる災害情報共有については、昨年よりの整備局管内にて本格運用が

始まりました。火山防災分野においては、噴火時における立入禁止区域内での調査手法の検討やリアルタイムハザードマップシステムの改良にも引き続き取り組んで参ります。

「建設技術の生産性向上」においては、令和元年の国土交通

本省が掲げる建設現場の生産性革命「貫徹の年」のもと、ICT技術の活用促進による建設現場の生産性向上を目的として、建設分野におけるVR技術の活用検討として、土木研究所と協

定を交わして、河川分野における3DVR技術の検討を開始、概ね3力年を目前に現場での活用開始を目標としています。また、河川管理者への適正な操作支援を目指し、AI技術により

ダム操作や避難情報提供に関する可能性検討に着手しました。また、河川水位の速報値公表にあたり大量なデータから瞬時に

異常値検出するべくAIを活用した検討も致しました。今年も引き続き、建設分野におけるVR・AI技術などの実用化へ向けた取組を進めてまいります。

また、新技術・新工法については、登録受付・審査や関係者向け

の説明会を引き続き実施、九し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

進に取り組んで参ります。

「人材育成の推進」において

は、無人化施工機械操縦者の育成を目的に無人化施工訓練に取り組んでおり、昨年は久留米・

桜島をフィールドとして実施致しましたが、雨天による規模縮小が影響し参加者が約470名に止まりました。また、メンテナ

ンス研修施設については、これまで

の橋梁実モデルに引き続き堤防実モデルも完成して、本年より2つの研修モデル施設により、技術者の点検技術向上の

ため更なる研修メニューの充実に取り組んでまいります。

今後とも、九州地方の繁栄と安全・安心確保のため、九州技術事務所、九州防災・火山技術セン

ターの責務を全うし、更なる事業の充実に努めて参ります

ので、皆様方の一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

九し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

九し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

ものづくり 街づくり 環境づくり 皆さまの夢をカタチに



株式会社

中野建設

代表取締役社長 中野 武志

本社 〒840-8588 佐賀市水ヶ江二丁目11-23



株式会社 丸福建設

代表取締役 田中 由美子

〒849-0201 佐賀市久保田町大字徳万1647
TEL (0952)68-2215 FAX (0952)68-2701

信用・安全・創造



株式会社 下村建設

代表取締役 下村 敏明

〒845-0022 佐賀県小城市三日月町久米1946 TEL 0952-73-3125 FAX 0952-73-3160



自然と共に、未来を創造する

<http://www.mutakensetsu.co.jp/>

総合建設業

牟田建設株式会社

代表取締役 牟田 正明

本社 〒842-0103 佐賀県神埼郡吉野ヶ里町大曲1756 TEL:0952-52-2355 FAX:0952-52-0400

豊かな生活環境づくり



岡本建設株式会社

◆認証取得◆

ISO9001
ISO14001
OHSAS18001

感動 感謝 貢献

代表取締役 岡本 秀実

佐賀県小城市芦刈町三王崎110 TEL0952-66-1155(代) FAX0952-66-4995



飯盛土木 株式会社

代表取締役 飯盛 進

〒840-0034 佐賀県佐賀市西与賀町大字屋外757-1

TEL 0952-22-4455 FAX 0952-23-9626 E-mail isagarik@wonder.ocn.ne.jp

営業種目

・土木一式工事 ・産業廃棄物収集運搬 ・小口径管推進工事（スピーダー・サンライナー508）
・管路施設維持管理（管渠改築補修工法） ・スラリー系地盤改良工事（G1コラム工法）

認証取得

ISO9001
ISO14001
OHSAS18001